

湯前町における マンガによる学校教育の推進について (案)

～湯前MIE (Manga In Education
: 学校教育にマンガを) への挑戦～

平成25年 6月

一般社団法人 九州テレコム振興センター
(K I A I)

KIAI



Kyushu Island Alliance of ICT

一般社団法人 九州テレコム振興センター
K I A I : Kyushu Island Alliance of ICT

湯前町とマンガ

目的

ここ数年、日本の文化が世界的に注目をされ、国内でも日本文化の再認識をする取組が行われています。特にマンガ・アニメ文化については、海外から高い評価を得ています。また、日本国内においても、マンガ・アニメに関する美術館等が新しく設立され、九州では北九州市や熊本市に設立されています。

湯前町は比較的早い時期からマンガによる町おこしに取り組み、特に風刺漫画を全面に打ち出してきたことで、他の地域にはない、独自のオリジナリティーを有しているといえます。現在、各地のマンガによる地域起こしの大半は、人気アニメに関連しているものが大半であり、「アニメの人気に左右」「似たような取り組みが展開」といったような現状を鑑みると、湯前町は、今後ともこの風刺漫画をベースとし、湯前町ならではの取り組みを継続し、発展させていくことで、息の永い「マンガ」によるまちづくりが実現できるものと考えられます。

MIE (Manga In Education)
学校教育にマンガを取り入れ、個性豊かな子供たちを育成する。

MIE(Manga In Education) (1)

目的

「風刺漫画の町」という、湯前町の特色を活かし、学校教育に風刺漫画授業を取り入れ、町（地域）一体となった教育を行うことで、町の文化や、特色を学ぶとともに、それらの情報を上手に発信・伝達する能力の育成も併せて図り、湯前町ならではの教育メニューとして、九州内外に幅広くPRしていきます。

事業内容

- (1) オンライン風刺漫画授業（7月：中学1年生対象）
京都精華大学とのオンライン風刺漫画授業を実施し、風刺漫画大賞に応募する。（応募作品はWeb掲載）
※ この応募に限らず入選作品は町の封筒、おみやげ包装紙、袋等にプリント
- (2) 1 / 2成人式（〇〇月：小学4年生）
京都精華大学とのオンライン似顔絵授業を実施し自分の夢を絵にする。
描いた夢はWeb掲載する。（成人式の時に活用）

成果・効果

風刺漫画には絵心は必要ではなく、時事知識、アイディア、ひらめき、ユーモアセンスが試される。通常の学校教育では学ぶ事ができないことを学ぶことができ、子どもたちの自信につながる。また、夢をしっかりと描くことで、自分の将来を考える機会となる。描いた作品がWebに掲載されることで、いつでも振り返ることができ、自分の子供にも語り継げる自分だけのストーリーができる。

MIE (Manga In Education) (2)

湯前小学校(4年生)

友達や、家族にも一見見せることができる

湯前中学校(1年生)

成人おめでとう

成人式、結婚式等で利活用

将来の夢

風刺漫画

Web掲載

風刺漫画
大賞応募

オンラインマンガ
授業

京都精華大学他

京都精華大学の学生
が応募。

入賞作品は封筒、名刺、
包装紙にプリント

オンライン風刺漫画授業（案）

【 オンライン風刺漫画授業（7月：中学1年生対象） 】

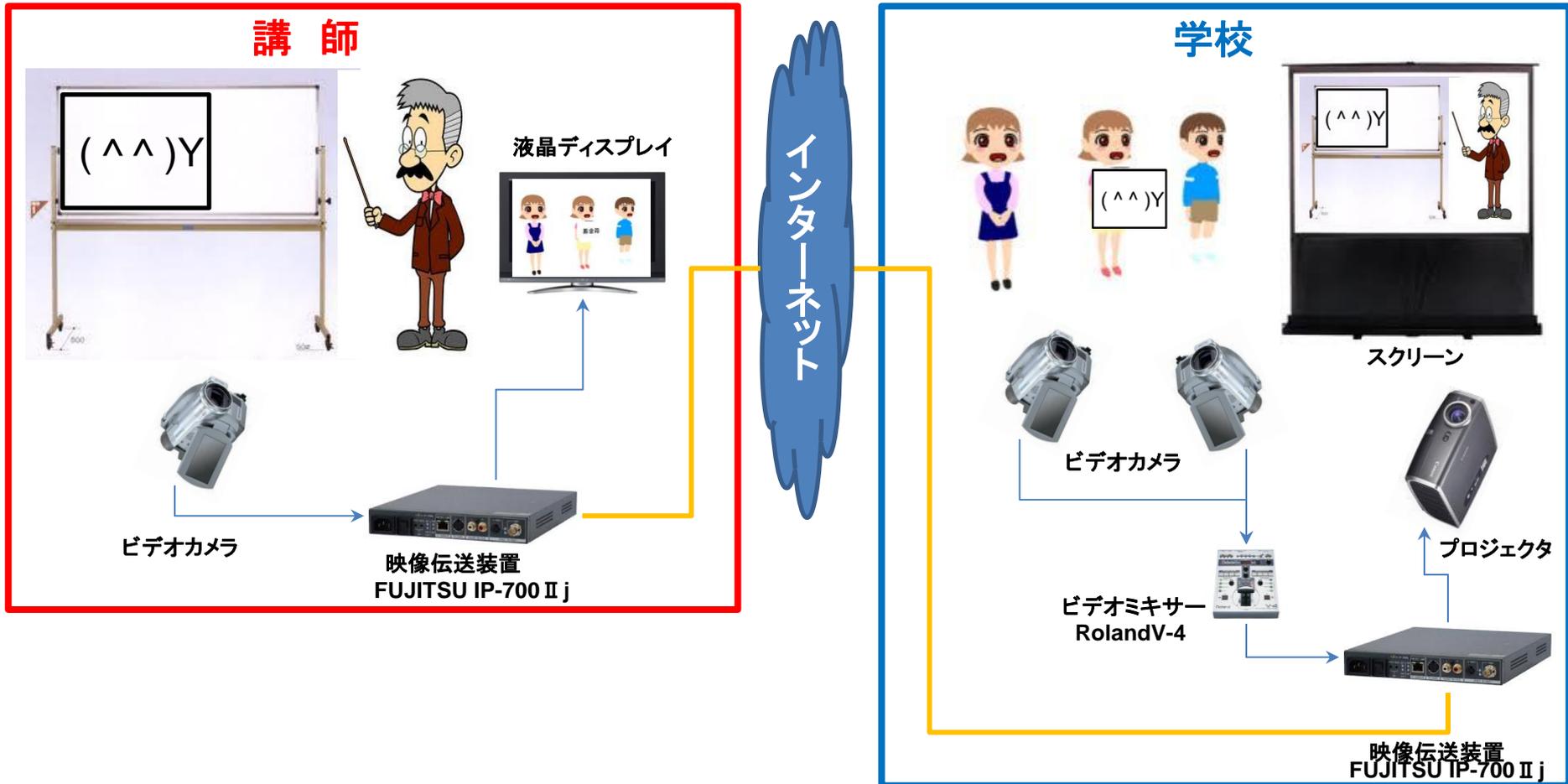
- 1 日時 平成25年 7月 4日（木）PM
- 2 場所 京都精華大学、湯前中学校
- 3 内容
 - ・ 1年生（男子20人、女子20人 合計40人）を対象とした風刺漫画授業（内容案）
 - ① 事前学習（湯前中学校 河野先生）
 - ・ 風刺漫画に関する説明、作品紹介、町の風刺漫画の取組説明等
 - ② オンラインマンガ教室（京都精華大学 篠原先生：110分）
 - ・ 前半⇒風刺漫画の描き方を教えていただく
 - ・ 後半⇒実際に風刺漫画を描きつつ、完成した生徒数人がアドバイスいただく。
 - ③ 仕上げ（湯前中学校 河野先生）
 - ・ 色塗り等で完成させる。学校廊下等への掲示
 - ・ 町の風刺漫画大賞へ応募（9月）
 - （オプション）
 - ・ 完成品をコピー、京都精華大学へ郵送し篠原先生に評価いただく
 - ・ 特別賞の設置

1 / 2 成人式夢マンガ授業 (案)

【 1 / 2 成人式 (〇〇月：小学4年生) 】 : 検討中

- | | | |
|---|----|---|
| 1 | 日時 | 平成25年 月 日 |
| 2 | 場所 | 京都精華大学、湯前小学校 |
| 3 | 内容 | <ul style="list-style-type: none">・ 4年生を対象とし、似顔絵の描き方を学び将来の夢を絵に描く・ 授業時間 2時間 × 1回
先生による似顔絵の描き方の授業をし、児童は描いた絵を活用して、1/2成人式で自分の夢を発表する。 |

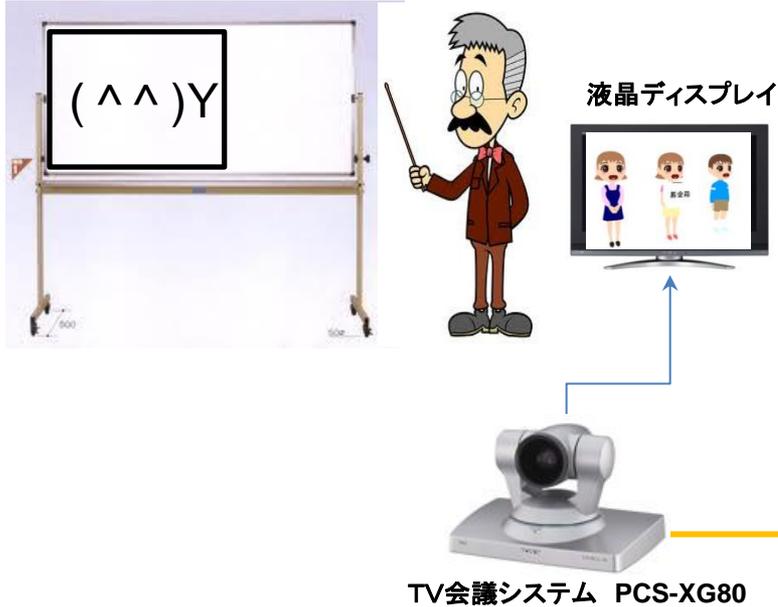
システム構成図 (案1)



映像伝送装置をベースとしたシステム構成

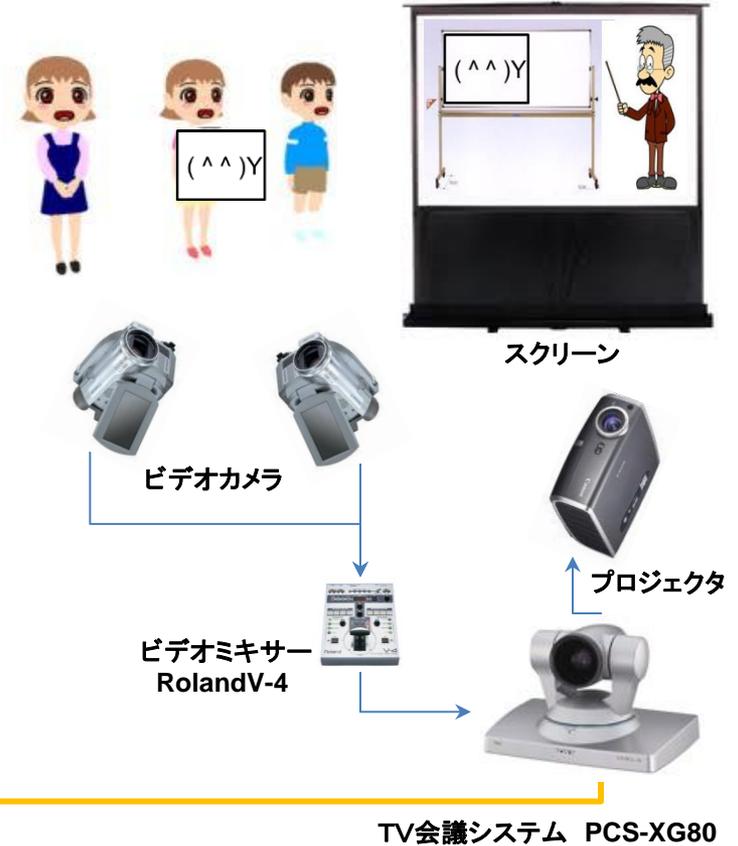
システム構成図 (案2)

講師



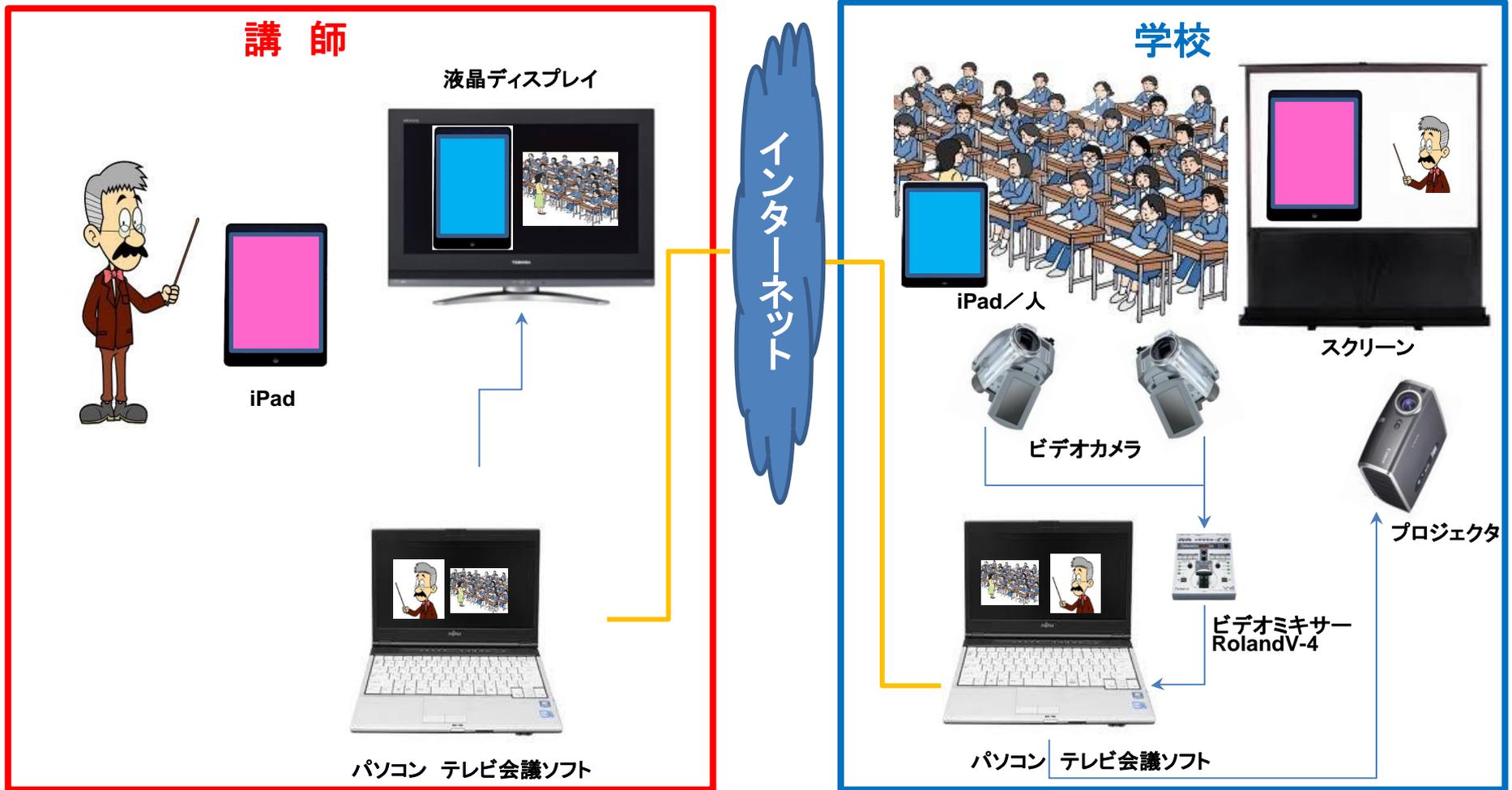
インターネット

学校



テレビ会議装置をベースとしたシステム構成

システム構成図 (案3)



テレビ電話ソフトをベースとしたシステム構成

検討事項

湯前町はマンガの町という特色を活かし、小中学校の授業にマンガを取り入れ、マンガを学びながら、柔軟で自由な発想と個性豊かな自己表現ができ、郷土愛を持った子供たちの育成を図ることを目指していきます。

このため、継続的な取り組みができる体制・カリキュラムを構築することを検討しています。

- 授業内容、時間について：2時間 × 3回 程度の確保は可能か？
※ 小中学校との調整も必要
- NW提供、授業時のシステム構築は可能か？（機材についてはKIAIが提供）
- 機材保管は可能か？（常設は不可能？）
- 費用についてどのくらい必要か？（講師謝金、施設・NW利用料、対応人件費等）
- 学生による風刺漫画大賞への応募は可能か？（授業の課題としての位置づけ）

(過去の実績) 授業の様子

◇湯前小学校 6年生 将来の夢制作



まんが美術館



政治風刺漫画家 那須良輔

◇湯前中学校 美術部 風刺漫画制作



(参考) 風刺漫画大賞事業広域展開(1)

目的

風刺漫画大賞の応募作品を、単なる応募作品として捉えるだけでなく、マンガに関する情報および町の情報を効果的に発信できる貴重なコンテンツとして捉え、ICTを利活用した情報発信を行う。

事業内容

- (1) 平成25年度応募作品のWeb掲載（過去応募作品は逐次掲載）
- (2) Web大賞の新設（Facebookの“いいね”数による評価）
- (3) 入選作品の活用
（名刺や封筒、切手やカレンダー、おみやげ袋・包装紙へのプリント）
- (4) 大賞作品パネルの有効活用（QRコードによる製作者情報提供）

成果・効果

応募作品をWebに掲載し、Facebook等のSNSを利活用することで、作品応募者自らが、応募作品、漫画大賞、湯前町をPRすることが期待でき、応募作品を情報発信コンテンツとして利活用できる。（南島原モデルのアレンジ）

風刺漫画大賞事業広域展開(2)

湯前小学校(4年生)

大賞モニュメント



QRコードを読み取り、
製作者の動画視聴



風刺漫画
大賞応募

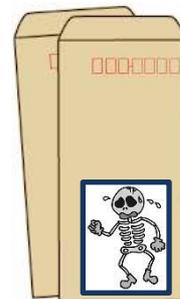


風刺漫画

Facebook等のSNSで応募
者が知人にPR。“いいね”の
数で大賞を決定



facebook



入賞作品は封筒、名刺、
包装紙にプリント
また、カレンダーや切手
にも活用